

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年11月22日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年11月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サブドレン一時貯水タンク(L)入口弁の「開」動作不良について】 当社運転員が、サブドレン浄化運転において、サブドレン他浄化設備から一時貯水タンク(L)へのB系の受入操作時に、当該タンクの入口弁が自動で「開」にならないことを確認。 調査の結果、一時貯水タンク(L)のB系入口弁の受入操作を行うプログラム回路に不具合があることを確認。 なお、一時貯水タンク(L)以外のタンクは受入可能であるため、浄化運転に影響はない。 今後、原因調査およびプログラム回路を修正予定。</p>	GⅢ	11月21日
2	<p>【非常用窒素ガス分離装置ディーゼル発電機駆動空気圧縮機(A)の冷却水温度計の故障について】 当社運転員が、非常用窒素ガス分離装置の試運転のため、ディーゼル発電機駆動空気圧縮機(A)の試験を行っていたところ、当該圧縮機本体に取り付けてある冷却水温度計の指示が計測範囲を逸脱していることを確認。 指示が計測範囲を逸脱していることから、当該温度計の故障と推定。 なお、空気圧縮機(B)は使用可能であることから、非常用窒素ガス分離装置の運転に影響なし。 今後、原因調査および当該温度計を交換予定。</p>	GⅢ	11月17日